

人間東部地区 歴史と緑の散歩道

F. 北永井の史跡をめぐる

■ 道程 / 10400m  
 ■ 所要時間 / 約3時間28分(見学時間を除く)

鶴瀬駅 (西口)

1350m 27分

① 藤久保東遺跡 (看板)

50m 1分

② 東乗院跡 (標柱)

250m 5分

③ 享和の庚申塔

300m 6分

④ 川越街道

800m 16分

⑤ 大井宿木戸跡

650m 15分

⑥ 克福稲荷

13分 5分

⑦ 宮本ふれあいの森

350m 7分

⑧ 織部塚

750m 15分

⑨ 羽生山稲荷

500m 10分

⑩ 富士登山三十三度の碑

300m 6分

⑪ 船津家 ★

600m 12分

⑫ 緑のトンネル

450m 9分

⑬ 北永井稲荷神社

2250m 45分

⑭ 鎌倉街道

1050m 21分

鶴瀬駅 (西口)

★…町の指定文化財がある所



⑨羽生山稲荷

鶴瀬駅

三芳町立中央図書館

みふじ幼稚園入口

藤久保信号

⑧織部塚 16世紀末頃、大井の開拓に尽力した大井4人衆の一人、新井織部を埋葬した塚といわれている。

⑪船津家 江戸時代に北永井村の名主役と共に尾張藩鷹場の預かり、案内役、所沢寄場組合

⑨羽生山稲荷 武蔵野の面影を偲ばせる雑木林が残る大井高校付近は羽生山と呼ばれる。稲荷神は一般に農耕神として祀られる場合が多いが、ここは商業神・福神としての性格が強く、商売繁盛・失せ物探しにご利益があるといわれている。祭礼は3月10日。



⑪船津家長屋門

の大惣代を勤め、明治初期には藤久保村連合戸長を勤めるなどこの地域における重職を担ってきた。船津家には長屋門、鷹場の標石、古文書などの文化財(非公開)が多く残されている。中でも江戸時代の古文書は貴重であり三芳町指定文化財となっている。

⑬北永井稲荷神社 北永井の鎮守。創建年代は不明だが、寛文2年(1662)北永井村開拓の絵図にはすでに描かれている。